

ココロとカラダに優しい

龍虎堂薬局に聞きました

漢方のチカラ

Vol.26
2人目不妊

Q 上の子はもう3歳なのに、次がなかなか授からなくて…
2人目不妊で悩んでいます。

A 2人目不妊で悩んでいる方って、少なくないんですよ。その多くには、産後の養生不足と気血・精の消耗が関係しています。

妊娠希望者の3割を占めるともいわれている2人目不妊。女性として子供を産み、育てる仕事はまさに大仕事。漢方では親から子へ、腎積生能力や血液母乳を削って分け与える作業だと考えています。その過程で養生が不十分だったり、気血・精の消耗が激しければ「次の命を宿す余裕はありません」。

また、出産後に卵管が詰まったり抗精子抗体ができるなど、様々な原因で自然妊娠が難しくなっている場合もあります。授乳を止めて不妊期間



龍虎堂薬局
夏莉和子
夏莉竜子

が1年以上になる時には、まず「自然妊娠できるか？」専門施設で検査してみよう。大きな障害がなければ、漢方の出番です。産後、体質の変化や体調不良がある方は、身体を元の状態に戻すことが妊娠への近道！漢方と養生によって本来持っている「妊娠力」が回復されて、授かる可能性も高くなります。相談くださいね！

漢方と養生についてアドバイスをしていただきました。

お産の後、体調が変わっていませんか？

- 35才以上
- 生理周期の異常 (25日以下or40日前後)
- 排卵期のおりものが少ない
- 腰痛、性欲減退 など

腎虚 卵巣機能低下

タイプ



出産や加齢・養生不足などによって卵巣機能が低下している状態です。特に問題なのは月経周期の異常で、卵巣の力が弱ると無排卵に陥ることもあります。そうならないまでも冷えやほてりが強い、排卵期のおりものが少ない場合は妊娠・出産に至るほどの元気な卵子が出来ていない可能性も。卵巣機能を高める補腎薬を飲んで早めの対処をオススメします！

オススメは

杞菊顆粒
参茸補血丸 など

(こぎょかりゅう・さんじょうほけつがん)



- 1年半以上授乳していた or 母乳の出が悪かった
- 産後、抜け毛が酷かった
- 月経量が少なくなった
- 立ちくらみ、動悸、不眠 など

気血不足

タイプ



上記の症状や疲れやすい、風邪引きやすくなった…などはいずれも気血(エネルギーや血液)不足の状態です。母乳の原料は血液由来。もともと原料不足だとお乳の出が悪く、反対に長く授乳続けても母体を消耗してしまいます。

また、妊娠力の低下だけでなく産後うつや育児ノイローゼ、大きな体調不良につながることもあるため注意が必要です！

オススメは

婦宝当帰膠
心脾顆粒 など

(ふぼうとうきょう・しんぴかりゅう)



- まだ授乳中 or 生理前に乳房が脹る
- イライラ、憂鬱がある
- 基礎体温がギザギザ
- 生理不順 など

ホルモンバランス不良

タイプ



授乳中は乳汁分泌ホルモン(プロラクチン)が高くなり、排卵が抑制されます。また、気血不足も進むため「妊娠しやすい身体」にはほど遠い状態です。生理前に乳房が脹る方も同様です。

まだ授乳中の方はまずは断乳から。ホルモンのアンバランスからイライラや憂鬱が出たり、基礎体温も不安定…。心身と基礎体温が安定すれば、自然と赤ちゃんが授かりますよ。

オススメは

逍遥丸
炒麦芽 など

(しょうようがん・いりばくが)



漢方薬と生活養生で妊娠力を取り戻しましょう!

夏莉先生のコラムもCHECK!

中国漢方による周期調節法で子宝相談中!

子宝相談

第129回

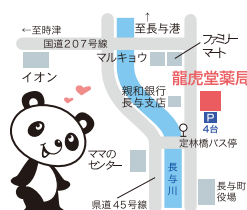
「中国・湖南中医药大学 不妊症研修記」

毎年恒例の中国・不妊症研修。今回お邪魔した湖南中医药大学付属病院は「中医臨床研究拠点」に指定されている国家レベルの大病院で、最新の機器を駆使し中医学+西洋医学の中西結合で治療に当たっています。元院長でもある婦科(産婦人科)主任教授・尤昭玲先生の元には国内はもちろん、世界各国からも研修団が訪れるそうです。

近年、中国では一人っ子政策が緩和され「もう一人…」と40代の高齢患者が増えているとか。初日は尤先生の「卵胞発育異常」の講義と臨床研修。翌日は病棟見学と「盆腔炎(子宮内膜症や腺筋症・感染症など骨盤内炎症の総称)の講義、更に臨床研修…と、朝8時半～夕方5時まで丸2日間みっちり研修でした。

卵胞の発育異常には大きさや時間、数や形の異常などさまざまなものがありますが①十分な卵巣機能と②性腺軸(脳-卵巣の指令系統)の充実、③卵巣の血液循環がよく、酸素や栄養・脳からのホルモンがしっかりと卵巣まで届くこと。この3つの条件を揃えること。長年の研究成果である「弁卵調胞六法」(卵胞発育不全に対する対処法)を直々に教えて下さいました。

臨床研修では問診や基礎体温表を診ながら励ましたり、勇気づけたり…1日70～80人を診察する中でまるで母のようなまなざしで、1人1人丁寧にカウンセリングをし、患者さんと向き合っている姿が大変印象深く



残りました。卵巣(腎)を補い、血行をよくする煎じ薬を中心に月経周期や状況に応じた薬膳が処方されていましたが、店頭の中成薬(製品化された漢方薬)で十分対応できるものでした。漢方には「**臍補臟**」といって、弱っている臓腑と同じものを食べて補うという考えがあります。卵にはやっぱ**「たまご」**が良いそうで、それも「淫禽」といわれるずらの卵が最高だとか。そんなちょっと面白い話もありつつ今回も新たな発見や多くの見識を得る事ができ、実り多き研修となりました。

日本不妊カウンセリング学会認定カウンセラー 夏莉竜子

龍虎堂薬局

営業時間/9:30～19:00 休/日曜・月曜 P有り
西彼杵郡長与町郷里郷1170-5

☎ 095-883-4300

龍虎堂薬局 検索



漢方相談はご予約下さい!